

祇園祭をごみゼロに！みんなでさらに誇れる祭をつくりあげよう！

注意事項

- ・環境対策ボランティア未経験者、経験者問わず必ず説明会に参加をしてください。説明会に参加できない方は当日のボランティア活動に原則参加できません。
- ・ご希望のシフトによっては、スタッフ配置の都合上、ご期待に添えない場合もあります。
- ・来場者から見ればボランティアスタッフも一般のスタッフと同じと見なされます。節度と責任感をもって活動にご参加ください。
- ・当日はシフトを組んで活動を行いますので、勝手な行動はご遠慮ください。
- ・他の団体、あるいは個人ボランティアと一緒に活動していただく場合があります。
- ・ボランティア活動中(説明会等も含む。)の映像・写真・記録等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権と肖像権は主催者に属します。
- ・活動の際、団体PRのための「のぼり」やウェア、それに類するグッズ類のご利用はご遠慮ください。
- ・ボランティアの皆様には「ボランティア保険」に加入していただきます。保険費用の負担と手続きは事務局が行います。手続きの際、氏名・住所を使用しますので、何卒ご了承ください。

個人情報の取扱い

個人情報については運営事務局が定めるプライバシーポリシーに則り、その目的の範囲内で利用するとともに、適切な方法で管理し、法令上の特段の事情がない限り、本人の同意なしに第三者への目的外での開示・提供はいたしません。

※プライバシーポリシー：http://www.gion-gomizero.jp/privacy/

呼称権は「祇園祭ごみゼロ大作戦2016」の公式スポンサーなど、祇園祭ごみゼロ大作戦実行委員会の承認する団体に限り認められます。承認を受けていない団体の呼称権は認められませんので、あらかじめご了承ください。

所属する団体の広告やPR等の目的で「祇園祭ごみゼロ大作戦2016」の呼称やロゴマークなどを使用することはできません。



例
株式会社〇〇〇は、「祇園祭ごみゼロ大作戦2016」を応援しています。

リユース食器システムとは

使い捨て食器の代わりに、繰り返し何度も洗って使用出来る食器を導入し、具体的なごみ減量、地球温暖化防止を計る仕組みです。宵山行事に出店する露店商さんのお持ち帰り商品以外の食器にリユース食器を導入します。

祇園祭ごみゼロ大作戦実行委員会とは

毎年大量の廃棄物が排出され大きな問題となっている祇園祭(宵山行事)に「リデュース」「リユース」のいわゆる2Rの視点を導入し、環境に配慮したごみゼロ祭へと導く取組を進めるために立ち上がった組織です。

【構成団体】美しい祇園祭をつくる会 / NPO法人きょうとNPOセンター / 京都環境事業協同組合 / 京都市 / NPO法人京都地球温暖化防止府民会議 / NPO法人KES環境機構 / 五条露店商組合 / NPO法人地域環境デザイン研究所ecotone / 京のアジェンダ21フォーラム

お問合せ

大谷大学地域連携室
響流館1階教育研究支援課内

Tel:075-411-8318 Fax:075-411-8162 Mail:commu-labo@otani.ac.kp

http://www.gion-gomizero.jp 祇園祭 ごみゼロ 検索



大谷大学版
募集要項

大谷大生集結!今年も全学挙げて参戦します!

祇園祭ごみゼロ大作戦
ボランティアスタッフ大募集!!!



前祭

2016

7.15 fri 宵宵山-16 sat 宵山

7.17 sun 食器洗浄

主催：祇園祭ごみゼロ大作戦実行委員会・京都市 http://www.gion-gomizero.jp 祇園 ごみゼロ 検索

祇園祭ごみゼロ大作戦 ボランティアスタッフ大募集!!

前祭
2016.7.15 fri 宵宵山-16 sat 宵山
7.17 sun 食器洗浄

2013年の祇園祭宵山期間に発生したごみの量は約57トン(内約1トンが資源物)。2014年から始めた祇園祭ごみゼロ大作戦の取り組みにより、同期間のごみの量は来場者が12万人増加したにもかかわらず約42トン(内約8トンが資源物)となりました。しかし、まだ多くの使い捨て容器等の大量のごみが排出されています。祇園祭ごみゼロ大作戦は、繰り返し何度も洗って使用できる「リユース食器」を露店へ導入し、ごみの減量と散乱ごみの防止を実施する日本最大級の取組です。現在、祇園祭ごみゼロ大作戦2016では、共に活動を行うボランティアスタッフを募集しています。四条通や烏丸通等にリユース食器の返却やごみの分別回収拠点として「エコステーション」を複数設置し国内外から訪れる来場者に対し、呼びかけや散乱ごみの清掃などを行います。

①前祭での活動

活動内容 リユース食器システムの運営、場内に設置されたごみ箱での分別誘導、散乱ごみの清掃活動など。

活動日
・2016年7月15日(金) 12:00~24:00
・2016年7月16日(土) 12:00~24:00

※各日 (1)終日(12時~24時) (2)12時~17時 (3)16時~20時 (4)19時~22時(可能な方は24時まで) (5)21時~24時のシフト制となります。

定員 約2000人(2日間の延べ人数として) ※募集定員は変更となる場合があります。

②食器洗浄活動

活動内容 祇園祭で使用された食器類の洗浄。

活動日
・2016年7月17日(日) 10:00~18:00

場所 京都市内4カ所の大学生協食堂(詳細は、後日申し込み者にお知らせします)

定員 50人

※洗浄ボランティアへの参加者には、事前に検便検査の実施をお願いすることになります。申し込み者には、詳細をお伝えします。



ボランティア活動の 内容と日時

1000年を超えて受け継がれている祇園祭で「ごみをゼロに」という大きな目標に向かって、2000人の市民ボランティアが終結しチャレンジします。この取組みに今年も大谷大学は全学を挙げて参戦します!

参加にあたって

①~②のいずれも、当日の活動内容の指定はできません。運営事務局にお任せください。

スタッフウェア、スタッフ証、ボランティア保険については、祇園祭ごみゼロ大作戦実行委員会で用意されます。本活動への参加に際して、報酬や交通費、食事の支給はありません。

ボランティア説明会は必ず参加してください。2度目の参加であっても、必ず参加をお願いします。なおどうしても下記日程の説明会に参加が出来ない場合は、申込書の質問欄にその旨を記載してください。参加にあたって不安なことや質問などがあれば、地域連携室までお気軽にお尋ねください。

ボランティア説明会

ボランティア説明会では、活動当日に必要なマニュアルの配布や説明を行います。

- 6月22日(水)14:40~16:10 会場:大谷大学1号館1209教室
- 6月22日(水)16:20~17:50 会場:大谷大学1号館1209教室
- 6月26日(日)10:00~12:00 会場:大谷大学1号館1113教室
- 6月26日(日)14:30~16:30 会場:大谷大学1号館1113教室
- 6月26日(日)17:30~19:30 会場:大谷大学1号館1113教室

いずれの回も内容は同じです。都合の良い回にご参加ください。

さあ、ボランティアに申込みよう!

参加申込みはたったの3ステップ

- (1) 参加申込書を書く
申込書に必要事項をすべて明記してください。
- (2) 参加申込書を受付箱へ
受付箱は響流館1階 教育研究支援課カウンター(北側入口すぐ)
- (3) ボランティア説明会に参加する

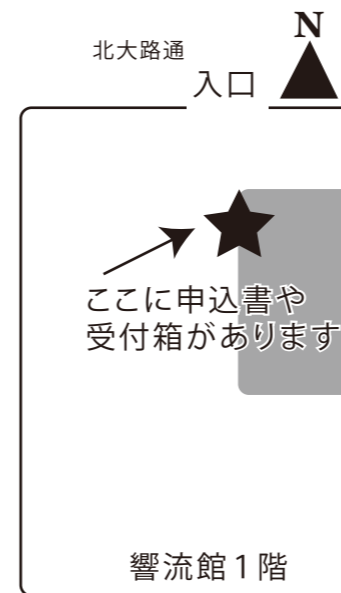
受付窓口 大谷大学地域連携室

所在地:響流館1階教育研究支援課内(月~金 9:00~17:30)

Tel:075-411-8318 Fax:075-411-8162

Mail:commu-labo@otani.ac.jp

申し込み締切期限 2016年6月7日(火) 17:00地域連携室必着



「ボランティアってやったことないなあ。不安」「バイトや就活もあるし、大丈夫かなあ」でも、大丈夫!

初めてのボランティアには不安や心配がつきものです。昨年度参加した先輩たちも、それぞれのドキドキした気持ちを抱えながら参加をし、想像を超える貴重な経験をしてきました。そんな先輩たちの参加体験談をご紹介します。

■身をもって実感すること、役に立つうれしさ

中井克哉(社会学科 4年生)



1~2年生で学外に出て地域の方からお話を聞いて調べる授業を受けたことから、地域の問題に興味を持ちました。

NPOや行政、事業者、それぞれの立場から見た廃棄物の問題やごみゼロに取り組む意義を学び、実際に活動することで、その難しさとやりがいを実感しました。

来場者の皆さんから、「ありがとう!」と言ってもらえ、誰かの役に立つことのうれしさも知ることができました。

僕はとても人見知りで、初めて会う人と話すのはすごく緊張します。それでも、回数を重ねるうちに、緊張はするものの、色んな人と出会って何かするのが楽しいと思えるようになりました。

卒業したら、自由な時間も限られる。だからこそ、今のうちに色んなことを経験できたらいいなと思っています。

■就活とボランティア活動を両立

村崎 瞳(国際文化学科 2016年卒業)



祇園祭には、1年生の頃から毎年行っていて、屋台や山鉦鑑賞を楽しんで来ました。昨年(2014年)の宵山で水色のシャツを着ている人を見かけ、気になっていました。

何かボランティアをやってみたいなと思いつつ、なかなかきっかけがなかった時に、大学でこのボランティア募集を知り、「今年はお祭を楽しむ側からごみを極力出さない運営側になってみたい」と思って参加しました。

就活と時期が重なっていたのですが、不安も躊躇もありませんでした。むしろ、参加することでリフレッシュでき、社会人ボランティアの方たちともお話が出来て楽しかったです。15・16日の2日間参加し、1日目できなかったことが2日目にできたりして、達成感もありました。

祇園祭のような日本を代表する伝統的なお祭に参加できるのは、京都の学生だからこそそのチャンスだと思います。ぜひこの機会に参加してみたいです。